

SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 13 巻第 11 号

第 11 週 (3 月 11 日 ~ 3 月 17 日)

発行年月日:平成25年(2013年) 3月21日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

今週の感染症発生動向

◆ インフルエンザは減少傾向(インフルエンザ警報は発令中)

★一類～五類全数報告感染症の発生状況(第11週)

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---**結核 9名**
- ・三類感染症---報告はありません
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---**後天性免疫不全症候群 1名**(病型:AIDS、感染経路:異性間性的接触、年齢:30歳代)
風しん 1名(病型:検査診断例、ワクチン接種歴:1回目、2回目ともに無し、年齢:40歳代)

★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(1,342名)よりさらに減少し、今週は1,169名となっています。今週、増加した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)、インフルエンザ(入院)等で、減少した疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

インフルエンザ患者数は5週連続して減少していますが、2月6日に発令されたインフルエンザ警報は、引き続き県内全域に発令されています。インフルエンザの発生状況は、(3)今週の発生状況に示すとおりです。

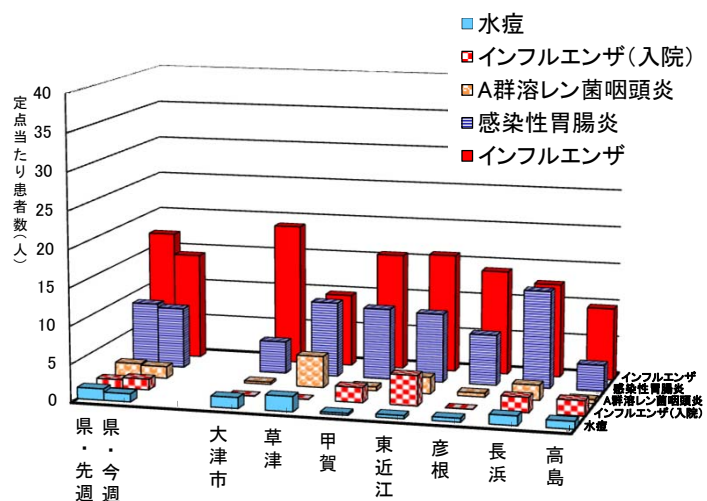
また、インフルエンザ入院サーベイランスでは、インフルエンザの入院患者 10名の届出がありました。保健所管内別では、甲賀 2名、東近江 4名、長浜 2名および高島 2名です。年齢別では、7ヶ月 1名、2歳 2名、3歳 1名、9歳 1名、10～14歳 2名、および70歳以上 3名です。70歳以上の内訳は、70～79歳 2名および80歳以上 1名です。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は下記のとおりです。

警報--- インフルエンザ (警報開始基準値 30.00、警報終息基準値 10.00 大津市、甲賀および長浜保健所管内
注意報--- インフルエンザ (注意報発生基準値 10.00) 東近江および彦根保健所管内



上位疾患の保健所管内別発生状況 (第11週)



県全体における上位疾患の発生状況は、①インフルエンザ、②感染性胃腸炎、③A群溶レン菌咽頭炎、④インフルエンザ(入院)、⑤水痘の順に多くなっています。

インフルエンザ-----大部分の保健所管内で先週より減少しています。高島では今週、注意報発生基準値(10.00)未滿となっています。

感染性胃腸炎-----各保健所管内とも、先週とほぼ同様の発生状況となっています。

A群溶レン菌咽頭炎-----先週に引き続き草津からの報告が多くなっています。

1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といい、滋賀県内で発生している一～四類および五類感染症の発生状況を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成25年 累積報告数		平成24年 累積報告数 ^{(*)1}		平成23年 累積報告数 ^{(*)2}	
		滋賀 (11週)	全 国 ^{(*)3} (10週 ^注)	滋賀	全 国 ^{(*)3}	滋賀	全 国 ^{(*)3}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	57	4,244	254	28,951	338	31,483
三類感染症	コレラ	0	0	0	3	0	12
	細菌性赤痢	0	21	0	214	5	300
	腸管出血性大腸菌感染症	0	126	37	3,765	71	3,940
	パラチフス	0	6	0	24	0	23
四類感染症	E型肝炎	0	21	0	119	0	61
	A型肝炎	0	24	1	158	0	176
	オウム病	0	1	0	8	0	12
	つつが虫病	0	31	1	436	1	462
	デング熱	0	24	2	221	1	113
	マラリア	0	11	2	73	0	78
	レジオネラ症	0	137	10	898	12	818
五類感染症	アメーバ赤痢	1	176	13	931	2	814
	ウイルス性肝炎	0	40	4	235	1	250
	急性脳炎	1	94	3	361	1	258
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	30	2	183	2	138
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	41	3	243	2	197
	後天性免疫不全症候群	4	223	9	1,427	6	1,535
	ジアルジア症	0	11	1	72	1	65
	梅毒	1	162	1	891	6	827
	破傷風	0	12	0	117	1	118
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	21	0	91	0	73
	風しん	2	1,656	12	2,391	2	378
	麻しん	1	60	1	285	1	439
	動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	0	3	0	2	9

注: 11週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

*1: 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成25年3月現在)。

*2: 感染症発生動向調査事業年報確定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成25年2月)。

*3: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症の発生状況を示します。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。
(患者報告数 = 定点当たり患者数 × 定点数)

(1) 疾病別・週別発生状況(平成25年第6～11週、H25.2.4～3.17)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						週				
			6週	7週	8週	9週	10週	11週	週				
			2/4～	2/11～	2/18～	2/25～	3/4～	3/11～	7	8	9	10	11
インフルエンザ	53	インフルエンザ	28.77	24.13	21.72	20.58	17.11	14.26					
小児科	32	RSウイルス感染症	0.38	0.50	0.44	0.44	0.25	0.38					
		咽頭結膜熱(プール熱)	0.28	0.09	0.19	0.28	0.06	0.28					
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.47	0.97	1.84	1.13	1.78	1.59					
		感染性胃腸炎	5.25	5.03	5.69	6.50	8.59	8.13					
		水痘	1.13	1.28	1.47	0.88	1.50	1.06					
		手足口病	0.16	0.19	0.22	0.28	0.38	0.38					
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0.03	0	0.09	0.16	0.13					
		突発性発しん	0.34	0.34	0.31	0.44	0.34	0.38					
		百日咳	0.06	0.06	0	0.03	0	0					
		ヘルパンギーナ	0	0.03	0	0	0.03	0.06					
		流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.16	0.13	0.06	0.06	0.09	0.03					
眼科	8	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
		流行性角結膜炎	0	0.13	0.13	0	0	0.25					
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
		マイコプラズマ肺炎	0.57	0.14	0.14	0.29	0.71	0.57					
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
		インフルエンザ(入院)*	2.71	2.00	2.14	0.71	1.14	1.43					

*: 平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

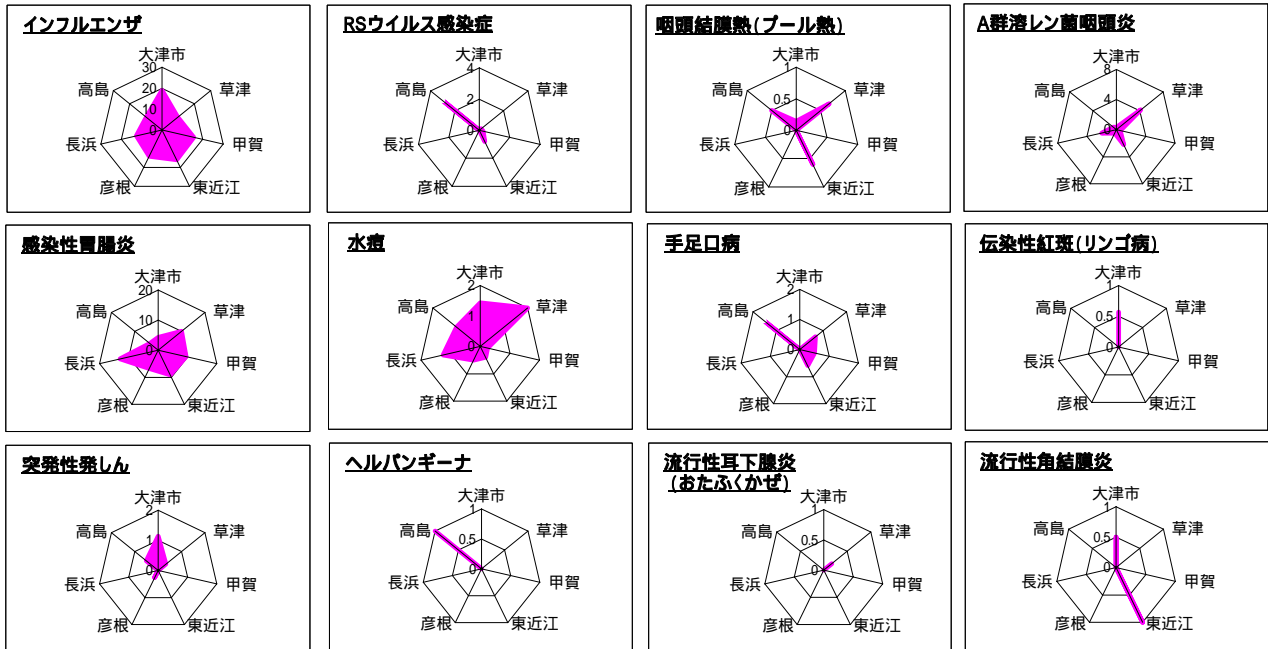
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第11週、3/11~3/17)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	14.26	18.91	9.70	15.57	15.88	14.00	12.57	9.67	
RSウイルス感染症	0.38	0	0.17	0.25	0.80	0	0	3.00	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.28	0.14	0.67	0	0.60	0	0	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.59	0.29	4.17	0.50	2.20	0.50	2.00	0.50	
感染性胃腸炎	8.13	4.29	10.00	9.50	9.20	6.75	13.00	3.50	
水痘	1.06	1.43	2.00	0.25	0.40	0.50	1.25	1.00	
手足口病	0.38	0	0.67	0.50	0.60	0	0	1.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.13	0.57	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.38	1.14	0.33	0	0	0.25	0	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.06	0	0	0	0	0	0	1.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.25	0.50	0	0	1.00	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.57	0	0	0	2.00	0	2.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザ(入院)	1.43	0	0	2.00	4.00	0	2.00	2.00	

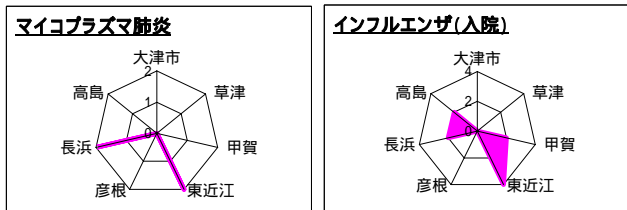
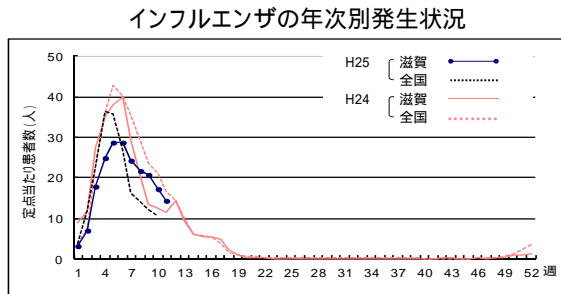
赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。
 青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

0 5 10 15
 定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



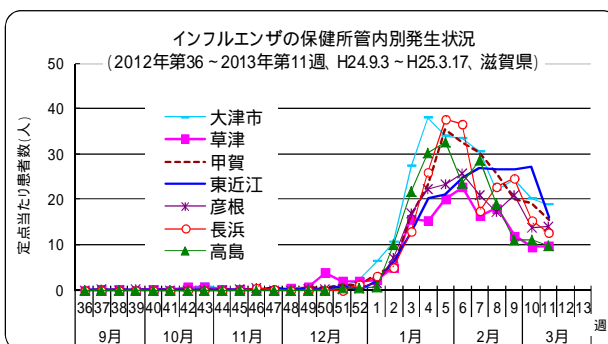
(3)今週の発生状況



インフルエンザの年次別発生状況はグラフに示すとおりで、全国、滋賀県ともに減少傾向となっています。

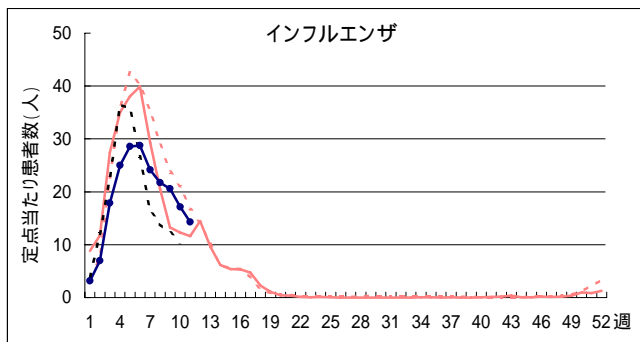
[トップページに戻る](#)

インフルエンザの保健所管内別発生状況

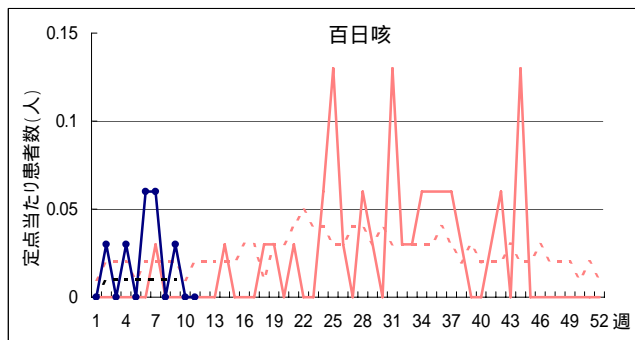
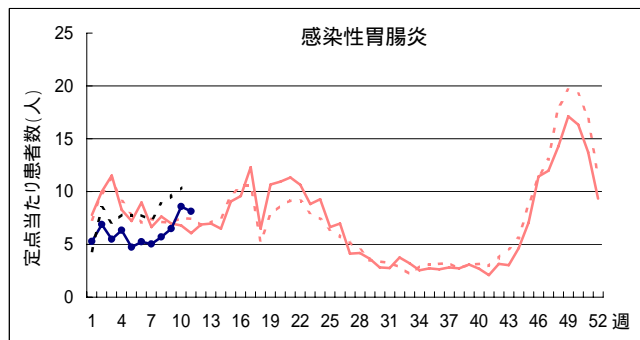
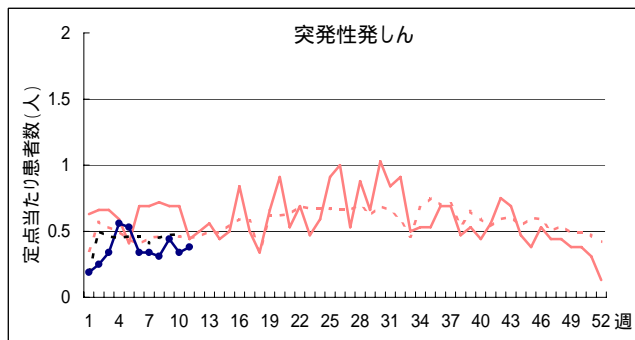
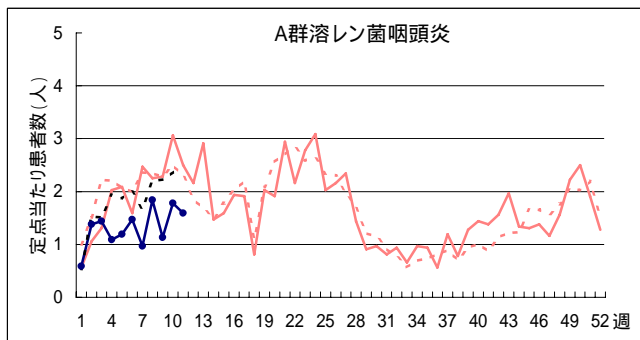
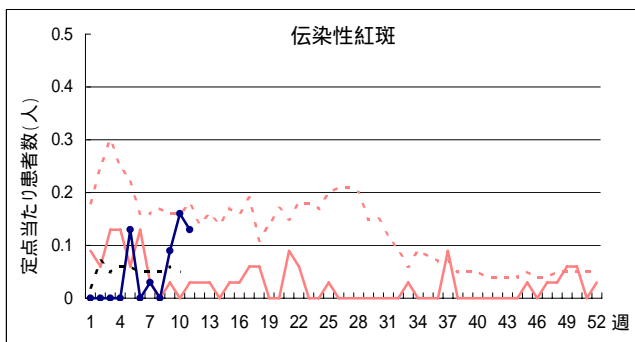
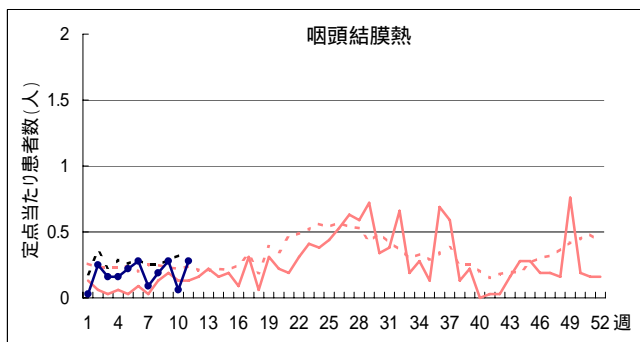
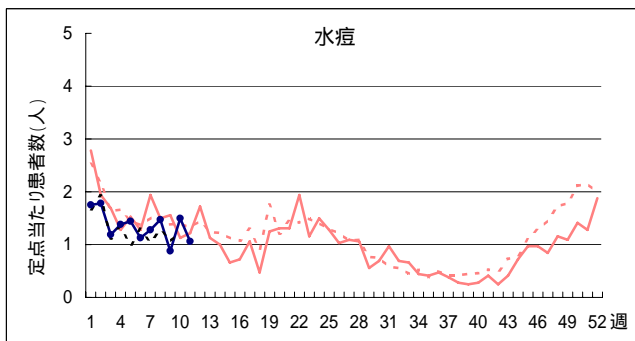
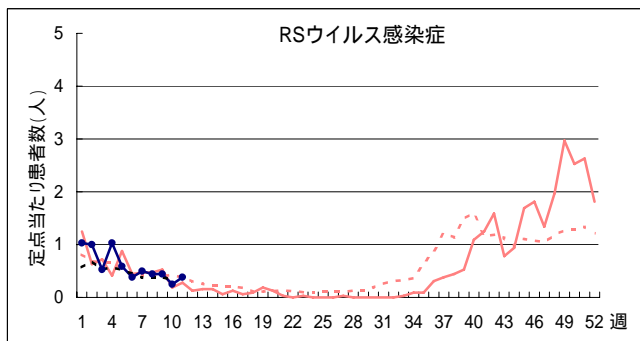


保健所管内別発生状況は、東近江で先週より大幅に減少しています。また、高島では、先週の草津に引き続き、注意報発生基準値未滿となっています。

疾病別定点当たり患者数(平成25年第1～11週、H24.12.31～H25.3.17)



H25
 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)
 H24
 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)



疾病別定点当たり患者数 (平成25年第1~11週、H24.12.31~H25.3.17)

H25 〔滋賀 〇 全国〕 H24 〔滋賀 — 全国〕

